



平成19年11月27日  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ベンチャーファンドへの出資決定について

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）は、新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド出資事業）において株式会社インテック・アイティ・キャピタルを無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に15億円の出資を11月19日に決定いたしました。

出資案件の概要は、アーリーステージにあるIT関連のベンチャー企業に対して重点的に投資を行い、インテックグループを始めとしたパートナー企業と連携を図りながら経営支援を行うファンドとなっています（詳細は別紙）。

（参考）

新事業開拓促進出資事業の実績（ベンチャーファンド）

ファンド総数	ファンド総額	うち機構出資額	投資先企業数	公開企業数
80	1,300億円	507億円	1,819社	83社

- 1) ファンド総数・ファンド総額・機構出資額・公開先企業数は10月末現在の数値
- 2) 投資先企業数は9月末現在の延べ数値

【本件に関するお問合せ先】

独立行政法人中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド審査課〔担当：中里〕

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1673

URL <http://www.smrj.go.jp>

(別紙)

**・インテック・アイティ2号投資事業有限責任組合(仮称)の概要**

インテック・アイティ2号投資事業有限責任組合(仮称)は、株式会社インテック・アイティ・キャピタル(東京都江東区・近藤秀樹代表取締役)を無限責任組合員として設立予定の投資事業有限責任組合です。

本組合では、「コンピュータとネットワークの融合」をキーワードとして、世の中に变革をもたらすIT関連企業の創出を目的に投資を行い、インテックグループを始めとしたパートナー企業と連携したサポート体制により投資先企業に対して一歩踏み込んだ経営支援を行いつつ、バリューアップさせていくことを活動方針としています。

本組合の出資総額は30億円となっており、中小機構が15億円の出資を行います。

(参考)

### 新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド）について

中小機構の新事業開拓促進出資事業は、国内の成長初期段階（アールリーステージ）にあるベンチャー企業に重点的に投資することにより、これらのベンチャー企業の資金調達を円滑化し、健全な成長発展を支援することを目的として平成10年度に開始されました。民間ベンチャーキャピタルが設立する「投資事業有限責任組合契約に関する法律」に基づくファンドへ、中小機構が出資総額の2分の1以内（地方公共団体が出資を行う場合には、地方公共団体の出資と合わせて2分の1以内）で、出資をしております。

#### 【スキーム図】

